

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 361

■ 次世代モビリティ関連対応支援事業

「ワークモビリティ分解調査活動説明、AMR 走行デモ見学セミナー」 並びに「静岡県 AI・IoT 推進ラボ説明会」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車向けの部品製造にチャレンジできるよう、車両分解活動などを通して、次世代自動車技術に関する情報提供を行っています。昨年度からは、活動範囲を「ワークモビリティ」まで拡大し、幅広く情報収集と展開を進めており、今年度は、この活動の一環としてオムロン製自律走行搬送ロボット「AMR LD-90」の分解調査を実施する予定です。

AMR・AGV 市場については、製造現場の人手不足や高齢化に伴い右肩上がり成長を続けており、2026 年の市場規模は約 9,100 億円に達すると予想されています。今回、分解作業に先立ち、会員企業の皆様が、ワークモビリティ事業への参入による「事業規模拡大」や自社製造ラインへの AMR・AGV 導入、AI・IoT 活用による「生産効率化」にお役立ていただくため、今年度のワークモビリティ分解調査活動の概要説明、「AMR LD-90」の解説及び実機の走行状況を間近で見学していただくセミナーを開催しました。

合わせて、静岡県工業技術研究所様から、製造現場の生産性向上を支援する AI・IoT 機器を展示する「静岡県 AI・IoT 推進ラボ」の説明を行っていただきました。

■ 日 時 : 2026 年 7 月 17 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分

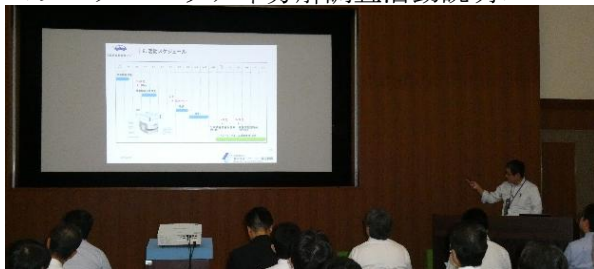
■ 場 所 : 静岡県浜松工業技術支援センター

■ 参加者 : 29 社 / 54 名

<開会>



<ワークモビリティ分解調査活動説明>



<特電様：AMR 走行デモ>



<挨拶>



<オムロン(株)様：AMR LD-90 解説>



< 静岡県工業技術研究所様：「静岡県 AI・IoT 推進ラボ」説明 >

(ラボブース展示企業様説明)



(株特電様)



(ヘルツ電子(株)様)



(マスマークス様)

【参加者の声】

< 全体 >

- ・ AMR が生産現場で今後広く普及する可能性を認識できた。
- ・ AMR の駆動方式の違いや、今後の展望などがわかりやすく大変参考になった。
- ・ AMR の市場成長性と駆動方式の特徴が理解できた。
- ・ 構造が多岐にわたり、長所・短所が示されていて、構造との関係性が理解できた。
- ・ メーカーの説明者と技術的質疑応答ができた。
- ・ AMR の将来性、参入ハードルが低いことを知ることができた。
- ・ AMR の構造を初めて見る事ができた。
- ・ 企業ごとの技術、製品について知ることができた。
- ・ AMR の知識がほぼ無い状態であったが、今後調査する上での足掛かりとなった。
- ・ 説明もわかりやすく実機が見学できたのでよかった。

< ワークモビリティ分解活動説明 >

- ・ 市場規模、駆動方式、使用部品について理解が深まった。
- ・ 今後の活動計画について理解できた。
- ・ 活動の背景・目的が興味深く、また共感した。
- ・ 色々な用途に応じて、駆動式を選択できるステア全法型が一番良いと感じたが、極めて高価と記載があり、コストも重要なのだと理解した。

< AMR LD-90 説明・走行デモ >

- ・ 小型から大型までラインナップもそろっていて環境が合えば試したいと感じた。
- ・ 内部構造、センサに興味を持った。SLAM マッピング技術についてもう少し深く知りたかった。
- ・ 動画でわかりやすく説明いただき、理解しやすかった。
- ・ 動作方法について知ることができた。
- ・ どういったことができるのかがわかった。
- ・ VDA5050 については初めて知ったためとても参考になった。
- ・ 技術の紹介から導入のステップまで、一連の流れが説明されて良かった。
- ・ イージーオペレーションはとても良いと思った。
- ・ 人手不足を解消するロボットとして未来性を感じた。
- ・ マッピング精度や位置認識の完成度が良くわかった。
- ・ プログラム設定の説明があり良かった。
- ・ 説明内容を実際に見ることができイメージがわきやすかった。
- ・ 2 S が条件なのかなと感じた。LD-90 のコストも知りたかった。
- ・ 導入を検討したいが、自社の問題解決（通路狭い、2 S など）に時間がかかる。
- ・ 台車との連結動作を見ることができて参考になった。
- ・ 実機、実際の動き、ソフトを見ることができて良かった。
- ・ LiDAR で精度よく位置推定をしていることがわかった。